

地域医療コース特論・演習

Integrated Community Pharmacy

薬：L1-18613MY

コース科目 6年／前期 1.5単位 選択必修科目

科目責任者 山崎 紀子(薬学教育研究センター／地域医療学)

■ 教育目的

5年次の「地域医療コース」実習で修得した知識・技能・態度の総復習を行う。コース実習中に気付いた「地域医療の問題点」を再考し、その問題に対する対応を討議する。また、実習中に修得した知識・技能・態度を活用して薬局窓口事例を検討する。さらに「地域医療コース」で取り組んだコース研究レポートを輪読し、今後の地域医療、薬局業務、患者および地域住民にどのように活かせるかを討議する。

その他、地域医療でも取扱っている漢方に関しては「伝統医療薬学コース」、海外の地域医療に関しては「海外医療コース」、将来に求められる地域医療に関しては「地域医療コース」のそれぞれの有識者による講演を聴講し視野を広める。【卒業認定・学位授与の方針：YD-⑤～⑥】

■ 学習到達目標

1. 地域医療に関する論文紹介のプレゼンスキルを習得し質疑応答に対応する能力を養う。(知識・技能・態度)
2. アンケート調査におけるデータ解析の手法およびその評価・考察方法を習得する。(知識・技能)
3. 各自のテーマに関し学生間でその目的を理解し評価する。(知識・技能・態度)
4. 地域医療における漢方の役割を関係づける。(知識)
5. 海外における地域医療および薬剤師の役割を関係づける。(知識)
6. 将来の地域医療の役割について討議する。(知識・技能・態度)

■ 準備学習（予習・復習）

予習：コース実習で得た知識・技能・態度を、患者および住民にどのように活かせるか再考しておく。(30分)

復習：今後、地域薬局が患者および地域住民に対して担う役割を再確認する。(30分)

■ 授業形態

課題解決型学習、ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、双方向型授業、講義

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1～15	演習・講義	地域医療の問題点とその対応(SGD) 薬局窓口における対応(1)(2)(ディスカッション) コース研究レポート輪読(プレゼンテーション、ディスカッション) 他コース等との合同講義	B(4)-①1～6, ②-1～5 G(3)-4,5

■ 授業分担者

山崎紀子(責任者)、下川健一(副責任者)、中館和彦(副責任者)、飯田克巳、井上元基、植沢芳広、菅野敦之、木村真也、小関珠美、斎坂ゆかり、深水啓朗、宮沢伸介、山田聖子、山中正道、横屋正志、学外講師

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

質問を個別に受け付け、授業担当者より解説・説明をする。

授業(演習・講義)の出席 50%、演習態度およびレポート提出 50%にて評価する。